

第6学年音楽科学習指導案

1、題材名

曲想を味わいながら豊かな表現をめざそう

演奏曲（教材）：Under The Sea（映画「リトル・マーメイド」より）

作曲 アラン・メンケン 編曲：山里佐和子（ミュージック・エイト SK953）

2、題材の目標

（1）音楽科としての目標

- 自分たちが選んだ曲や関連する曲を聴いたり演奏したりしながら、曲の良さを感じ、音楽の楽しさを味わう。
- 自分たちが選んだ曲の合奏を音楽会目指して仕上げる中で、仲間の音や発言に耳を傾け、そこから仲間の思いを感じ取り、自分の思いを重ねて演奏する。

（2）汎用的スキル

- 一緒に演奏する仲間の意見や、演奏を聴き、自分の考えや意見を客観的にとらえ直し、演奏に生かしたり、よりよい練習の仕方を考えたりすることができる。（批判的思考力）
- 自分や自分たちの演奏を、自らの感覚を研ぎ澄ませてモニタリングし、現時点の自分や自分たちの演奏を把握することができる。（メタ認知）

（3）態度・価値

- 自分たちの演奏する曲を選ぶことに興味を持って関わり、合奏を仲間とよりよい演奏を目指して練習をすることができる。（好奇心・探究心）
- 音楽会を目指し、仲間とともに演奏する楽しさを見出しながら、よりよい演奏を目指して活動することができる。（困難を乗り越える力）

3、児童の実態

6年生の2学期は音楽会に向けての活動が授業の中で大きな位置を占める。はじめは授業の一部の時間を使って少しずつ選曲し、パート決め後は子どもの指揮者を中心に練習計画を皆で立てながら練習を進めて行く。その中で、自分たちに合ったその時々に必要な練習方法を考えたり、演奏をよりよくするための表現の工夫を試したりしながら、息の合った演奏をつくっていく。毎年聴いてきた6年生の音楽会を、ついに自分たちができると子どもたちは張り切っている。しかし一方で、演奏技能の点で自信がもてなかったり、音楽自体に強い興味をもっていなかったりして、主体的に演奏に参画していない子どももいる。仲間の支えや教師の関わりを足がかりに、演奏できるようになっている自分に気付いたり、音楽の良さを感じたりしながら、音楽会での演奏を楽しめるようにしたい。

4、題材について

①教科から見た特性

様々な曲を聴きながら自分たちが演奏する曲を選ぶことで、仲間と一緒に豊かな表現を目指して活動を主体的にできると考え、敢えて選曲を子どもとともにしている。また指揮者を教師がせず子どもがすることで、自分たちで演奏をしている実感をもてるように考えている。選曲を丁寧にする中で、自分たちが演奏する曲の良さや、曲想の特徴を共有することができ、目指す表現に近づけるために、音楽を形づくっている要素や、音の重なり、曲の構成などを意識しながら練習を重ねていくことができると考えている。

②汎用的スキルや態度・価値育成の観点からみた特性

高学年では、自分たちの演奏を俯瞰してとらえられるようになって欲しいと考えている。そのため、学習感想を互いに読み合ったり、それをもとに練習計画を臨機応変に変更したりしながらよりよい演奏を目指していくよう授業を展開する。また、どのようにしたら演奏がよりよくなるかを様々な観点で検討したり、何度も繰り返し練習したりしながら、選曲を通して描いた理想の演奏を目指して活動を展開し、その結果満足できる演奏になることで、困難を乗り越える力が育まれると考えている。

5、題材計画と資質・能力を育成する主な手立て（全10時間 本時7/10時間）

	学習活動	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
第1次 (2時間)	・自分たちの演奏する曲を選曲する	○好奇心・探究心 ○批判的思考力	○演奏する曲を自分たちで選ぶ ○選曲の観点を明確に示す
第2次 (7時間)	・パート分けをする ・学習感想をもとに練習の仕方や表現の工夫を試しながら練習する ・自分たちの理想の演奏を思い描きながら、練習を重ねる	○批判的思考力 ○メタ認知 ○困難を乗り越える力	○多様な視点から考える必要のあるテーマの設定 ○他者との学び合いの設定

第3次 (1時間)	・音楽会で演奏する	○困難を乗り越える力	○思い切り演奏できるよう、環境をつくる ○ステージマナーを伝え、演奏会を自分たちで運営できるようにする
--------------	-----------	------------	--

7、本時の学習指導

(1) 本時のねらい

- ・全曲を初めて通して演奏し、曲の全体像をつかみ、自分の描く“もっとよい演奏”にするために必要な工夫点を見いだす。

(2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	◇資質・能力を育成する主な手立て ◆評価
導入 5分	今日の課題と時間配分を考えよう ○コメントカードで前時の気づきと本時をつなげる ・各パートの課題をまとめ、本時の課題を明確にする ・指揮者が時間配分を提案する	◇自分たちの演奏がどのようになっているかをふり振り返りながら、本時で目指すことを明確にする (メタ認知) ◆自分の目標と、全体の目標を具体的ににつかめたか (批判的思考力)
展開 35分	○練習をする (合奏で全曲を通す→個人/パート練習) ・楽器の調整(音色の設定など)をし、合奏の準備をする ・途中からわからなくなる ・くり返し方がわからない ・最後のキメをしっかり合わせたい ・パートでの時間を少しでもとりたい ○練習をする(個人練習/パート練習→合奏) ・自分たちが目指す“もっとよい演奏”にするために必要な課題は何かを考える ・それぞれのパートのズレを修正したい ・テンポをもっと速くした方がこの曲らしい ・打楽器パートはどの旋律のところでリズムパターンを変えるかを決めよう ・マリimbaは、左手から弾き始めた方がこの旋律はスムーズに弾けるよ	◇パートや個人練習をしたいと言うだろう。全体で整えたいところを明確にしてその部分を練習するようにし、手応えを感じられるようにする ◇楽譜をモニターに映し出し、演奏している部分や、くり返し記号によって戻るところなどを明示し、どこに戻るかを視覚的につかめるようにする ◇楽譜と音を連動させながらモニターで再生することで、音楽の流れと楽譜の進み方の速さをつかめるようにする ◇一度合わせただけで課題の焦点を絞るのではなく、何度か合わせながら気になるところが明確になっていくようにする。指揮者にとってもその課題が明確になるまで合わせてよいことを伝える ◇演奏しながら耳に入ってくる目印になる旋律や音を見つけるよう声をかける ◇技能的な面で支援が必要な場合は、教師が個別に練習の方法や、楽器の奏法などを伝える ◆全体の課題を意識しつつ自分の課題をもって練習に取り組めたか (批判的思考力)
結末 5分	○次時にむけてふり振り返る ・通せたのでこれからが楽しみになった ・まだH(リハーサル記号)までしか弾けないので、次回までに練習してこようと思う ・もっとみんなで合わせる時間を増やしてほしい ・次回までに一人一人がくり返しの順を確認してこよう	◇練習の進め方や、演奏についての気づきを自由に書くようにする ・学習感想を一覧にして配布するので、小さい用紙に端的に書く ◆自分の進捗状況をつかめたか (メタ認知)